

## 令和元年度第2回防府市図書館協議会

日時：令和元年10月31日（木） 午前10時～午前11時30分

場所：防府市役所 1号館3階第1会議室

### ■出席者

（委員）藤村会長、山本委員、河村委員、河村委員、新田委員、山崎委員、  
吉武委員、山本委員（計8名）

（事務局）江山教育長、林教育部長、森川教育部次長、尾中教育総務課長、  
大野図書館長、徳永図書館管理室長

### ■欠席者 安光副会長、津田委員

### ■議事録

#### ○事務局

定刻になりましたので、ただ今から「令和元年度第2回 防府市図書館協議会」を開催します。

それでは、防府市図書館協議会規則第三条第1項により、藤村会長に議事進行をお願いします。

#### ○議長

それでは、今回の会議につきましても前回と同様に、会議及び会議録につきましては、「公開」で進めてまいります。よろしいでしょうか。

（異議なしの声）

では、「公開」ということで進めてまいりますので、よろしくをお願いします。

それでは、議事に入ります。

「議題 令和元年度事業実施状況について」、事務局から説明をお願いします。

#### ○事務局

本年度の第1回協議会で平成30年度図書館事業の評価をいただきました。図書館では、それを踏まえて、今後のサービスの向上に努めているところです。

本日は、令和元年度事業の9月末までの実施状況について、図書館長から御説明します。

#### ○館長

皆様には、あらかじめ資料に目を通していただいているという前提で、ここでは令和元年度になってからの新規事業を中心に御説明させていただきます。

なお、各項目名については、時間の都合上、いちいち読み上げることはせず、

数字番号で御説明させていただきます。

1 ページ目の1- (1) の②ですが、これまで資料の分類につきましては、日本十進分類法の新訂8版に基づいて行ってきました。ところが、当館が採用しているTRCマークは、新訂8版に基づく分類による書誌情報の提供を、2020年12月末で打ち切ることになりました。そのため、移行期間も考慮し、この10月発注分から、新訂10版に切り替えることにしました。なお、新訂10版で変わった点としては、これまで0類・3類・5類と分散していたコンピュータ関係の資料が0類にまとめられた点が、もっとも大きく変わった点で、その他の細かな変更点についても、掲示等によって利用者に周知していきたいと考えております。

(1) の③の蔵書点検ですが、毎年2回行いますが、御承知のとおり、9月27日より上山満之進生誕150年事業が行われたことと、読書週間を考慮しまして、10月開催を見送りまして、11月12、13、14日で月例整理日を含めまして3日間で蔵書点検を行います。

続きまして、2 ページ目、1- (2) の②については、今年度から新たな情報発信の媒体として、「防府市メールサービス」を利用し、イベントの案内や緊急連絡など、図書館関係の記事を随時掲載しています。8月15日には、台風10号接近のため、移動図書館車の運行を中止しましたが、ホームページだけでなく、「防府市メールサービス」を利用して情報を発信したこともあり、大きな混乱もありませんでした。

1- (2) の④については、館内施設・設備等の安全点検を定期的を実施したり、職員が館内を定時に巡回したりすることによって安全に努めてきましたが、9月27日からの陳澄波の絵画の展示を機に、展示室の防犯カメラや夜間警備用センサーを新たに設置するとともに、出入り口の欄間部分の改修工事を行い、防犯体制をより一層強化しました。

3 ページ目、1- (3) の①については、2週間に1回巡回する定期6コース・37ステーションの他、昨年からは始めた地域のイベントへの移動図書館車臨時出張サービスが好評を得たこともあり、今年度は派遣依頼がさらに2件増えて7件となりました。

続いて、4 ページ目、2- (1) の①については、ここには記載しておりませんが、去る10月19日(土)、第29回防府図書館まつりを、実行委員会やボランティア団体の皆さんと協働で開催し、成功裏に終えましたことを御報告します。なお、来年度は30回目という節目の年でもあり、実行委員会としては記念事業を計画しておられると伺っております。

次に5 ページ目、3- (1) の①です。図書館では、「ビブリオバトル」を年に3回行っておりますが、当初の計画を変更し、昨年参加の少なかった7月の開催

を見送り、第2回目を11月9日(土)に、第3回目を3月に開催する予定です。

なお、第2回目については、市内の各高等学校の校長先生はじめ関係者に御協力をお願いし、バトラーとして高校生の参加を募りました。全5校から全員とはなりませんでしたが、結果2名の生徒さんが初の高校生バトラーとして参加してくれることになりました。

また、来年度は裾野の拡張ということも考えまして、図書館の利用で狭間になっている中学生や高校生を増やしていきたいということから、年明けにも「ビブリオバトル」への中学生の参加について、各中学校へ御協力をお願いすべく、訪問していこうと考えております。

6ページ目、4-(2)の①については、防府市教育委員会主催の「上山満之進生誕150年事業」の一環として、展示室において陳澄波の絵画「東台湾臨海道路」の展示を行いました。なお、9月27日～10月14日までの期間中の来室者数は413名でした。

7ページ目、5-(2)の①については、学校司書との連携・支援事業として、小学校で開催される児童参加の選書会用に新刊本90冊を貸出しました。資料には9月末ですので、9校とありますが、10月実施分を入れると今年度は11校となります。)

なお、6月に開催された牟礼南小学校の選書会には、職員2名が研修として参加しました。次年度も更に連携を深めていきたいと思っています。

続きまして8ページ目、6-(1)の①については、第7回目となる「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」への出品予定者のうち、希望者17人を対象に、「調べる学習にチャレンジ!」と題して、テーマの決め方、調べ方、まとめ方について個別に助言しました。

最終的に出品数は、小学生52点(昨年:60点)、中学生24点(昨年:11点)で総数では76点(昨年:71点)で、昨年より若干増えております。

最後に9ページ目、7-(2)の①については、ボランティア団体「翠の会」の協力を得て、リーフレット「防府図書館障害者サービスのご案内」の音訳版CDを制作中でしたが、先ごろようやく完成しましたので、各公民館や社会福祉協議会に設置していただくようお願いしました。

○議長

図書館からのただ今の御説明に対して、御質問・御意見等がございましたらお願いします。

○委員

2ページのホームページの内容を随時更新となっているのですが、「子ども読書のまち防府」が更新されていないので、よろしくお願いします。

○館長

すぐに更新するようにします。

○委員

7ページの5の実施状況の中に、9校に選書会用に新刊本をとあるのですが、今の説明を聞くと11校になっているということです。あと5校にも推進していただきたいなと思っております。

先日、小学生に読書のクラブ活動があると初めて聞きました。そこで、みんなが楽しく読んでいるということですので、この実施状況を見て、このことかと思いましたので、残り5校もできるだけ頑張って推進していただきたいと思っております。

○館長

できるだけ来年度は、全校に参加していただくよう努めてまいりたいと思っております。

○委員

今の選書会のことで、中学校の実績というのはないのでしょうか。

本校も選書会を玄関でこじんまりやるような形でやっていたのですが、生徒は大変関心を持っていました。

こういう機会に紹介していただくと、中学生も意欲が高まるのではないかと気がします。

○事務局

選書会につきましては、学校で企画するものです。選書会に図書館から貸出す本につきましては、選書会を開催する学校の司書が共同で本を選書しております。そういうことですので、中学校でもある程度、必要な本が絞れば、対応も可能だと思いますけれども、今のところ中学校では選書会を行われていないようですので、どういった形で開催されるのかが、ある程度決まりましたら、図書館管理室でも選書会に対応するしくみを考えたいと思っております。

○委員

ありがとうございます。また、協議したいと思います。

○議長

御検討いただければと思います。

1ページの1-(1)の②NDCについて、大きな変更点は007の情報工学に5類の電子工学等が統一されるということです。他にも若干あるようですが、それら変更点については、TRCは以前から準備されているため齟齬はないでしょうが、図書館としては、利用者が惑うことがないように掲示等をしっかりお願いしたいと思います。

情報工学と電子工学の統一以外に、何かあるようでしたら、簡単に御説明をお願いします。

○図書館員

一番大きなものは、先ほどの話にも出てきたデータ処理・情報処理の統一です。NDCの9版以降から、日本文学の作品論と小説が一緒になるようになりまして、今回の10版導入にあたり、図書館でも協議した結果、作品論と作品が今から一緒になると、利用者に混乱があるのではないかということで、10版は採用しましたが、当館では小説とその小説の作品論は分けて設置するように手配をしております。

ただ、海外小説につきましては、作品と作品論を分けると、それぞれの国ごとでは作業も煩雑になりますので、今後、作品と作品論が混合になります。若干、利用者に周知が必要になるかもしれません。他には、大きなものはないと認識しております。

○議長

掲示は、どのあたりにされますか。

○図書館員

棚の近くにするのが良いと思っています。

○議長

7ページ5-(1)①について、今年度、学校図書館の図書管理システムが9月からリアルタイムに図書の貸出状況が把握できるようになったと思いますが、現在の状況について、御報告をお願いします。

○事務局

学校間の相互貸借については、1か月遅れで報告が出てきますので、9月末の統計では、それほど大きな変化はございませんが、今後、システムを使いこなしていく中で、授業や学校行事等で資料を貸借する割合も増えていくことになると思われます。

また、データが一括管理されており、寄贈された本等も、どこかの学校1校がデータを登録すれば、それに紐づけをして、登録ができますので、寄贈図書の提供は、以前と比べて早くなっております。

いろいろな機能がありますので、それをどのように使いこなすかということについて、学校司書にも研修・指導をしているところです。

○議長

それに伴って、図書の配送業務に変化がありますか。

○事務局

今のところ、10冊20冊という大量の相互貸借は、まだ行われておりません。学校司書が移動する時、または司書同士でやり取りしているところであり、配送業者を使ったり、郵送で送ったりという話も管理室には来ておりません。もし、必要であれば、図書館管理室へ相談してもらおうよう周知はしておりますが、

まだそのような状況ではないようです。

#### ○委員

8ページの「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」についてですが、まだ浸透しておらず、一部の学校の出品が大部分を占めているように思います。

そこで「調べる学習にチャレンジ」の開催と「出前講座」を合わせたものを、学校で「出前講座」として開くことが可能なのかということと、学校でもなかなか図書館に足を向ける子が少ないのをどうやって活性化していこうかという中で、こういう機会があると広がっていくのではないかなと思ったのですが、いかがでしょうか。

#### ○館長

先ほども御説明をしましたが、図書館では夏休みを利用して、今年度は個別の相談をしましたが、昨年度は、一室に集まって、講演のようにして「調べる学習にチャレンジ」を開催しました。

学校において個別の相談形式や全体でワークショップというのは難しいと思いますが、講義形式の出前講座は可能だと思っております。

また御相談をいただきましたら、具体化していきたいと思っております。

#### ○委員

分類についての意見です。図書館では十進分類法で本が並んでいますが、世界各国のお話の本が一つのシリーズとして出ている場合、イギリスのお話やドイツのお話を探す際には、十進分類法でいくと、本は、それぞれの国の物語の所へバラバラに置いてあるのです。それは、すごく探しにくいと思います。

その他にも、小さなお話の本が保育の分類の場所に入っていたりします。こんなところにこんな本が置いてあるかという感じで、すごく見つけにくい、探しにくいことがありました。それはどういう風になっているのかと疑問に思っています。

#### ○事務局

これは、学校図書館でもいろいろと悩むところですが、シリーズで置いて、その中で選んでくださいというやり方もありますし、逆に、自分でテーマを持って探す時には、それぞれの分類の場所にあった方がいいということもあります。

基本的にはNDC分類は、本の内容に沿って分類する形になっていますから、それをシリーズ毎でまとめてしまうと、それぞれの配架位置に置いた方が良さなものもあり、全体のシリーズの内容によっても配架位置が変わってきます。図書館は調査・研究というところも大事な機能ですので、何かを調べるときにわかりやすいようにということで、内容に沿った分類に配架をしています。

その代り、OPAC等の目録検索でシリーズ名を入れていただければ、その本が配架されている場所が分かるようになっております。その辺りは、御使用

になる方のそれぞれの目的によって違いますので、どちらを取るかが、なかなか難しいところです。今の図書館の考え方としては、本の内容を中心にということで考えております。

○委員

そうだろうと思っておりますが、とにかく、探しにくいです。

○議長

ある程度、慣れていただくしかないところもございまして、0から9までの分類の仕方等について、掲示はどうなっていますか。

○図書館員

まず0から9までの分類については、書架の上と配架表も作っております。最近、子ども用に分類のポスターを何枚か購入して貼っており、少しでも分かりやすいように思っております。

○議長

図書館の分類は、一般の方には複雑な面もあるかと思っておりますけれども、分かりにくいときは図書館の職員にお聞きになって、目的の本に出合うようにしていただければと思います。

○委員

青少年育成市民会議では、家庭の絆が希薄化していることから、毎月第3日曜日の「家庭の日」を、家庭の絆あるいは地域の絆を取り戻そうとしているところです。

図書館では、8ページの6にあるように、第3日曜日に、「家庭の日」の読書イベントを計画していただき、大変ありがたく思っております。イオン防府店で、「ほうふとしょかん出前おはなし会」を開催しているようですが、いろいろな所で宣伝をし、協力をしたいと思っておりますので、その利用者がどの程度なのかを教えてください。

○館長

月によって違いますけれど、参加者は、平均すると、親子中心で20名から30名だと思います。

ただ、家庭の日として出前をしておりますが、それ以外にも出前のおはなし会につきましては、例えば「海北園」にも出かけておりますので、そうした出前も積極的に取り組んでいきたいと考えております。

○委員

図書館でもおはなし会がたくさん開かれていますので、そちらにも足を運んでいただくように言っていただけたらと思います。よろしく申し上げます。

○委員

私も図書館を利用しておりますが、特に低学年以下の子どもが一人で図書館

に行くことはないと思いますし、スマホの洗礼を受けていない中学生以下の子どもたちが、その時に読書をしておかないと、だんだん活字離れをしていくのではないかと心配をいたします。

今、図書館のわっしょい広場、イオン側から入っていく方に、図書館があることの掲示がないので、初めて来た方には特に分かりづらいと思います。北側には看板があるのですが、自動車でイオンの駐車場からルルサスを見た場合に、図書館の掲示がないのです。その辺りがすごく残念だと思っていることを、前回も話したと思うのですが、一階の空き店舗に図書館をサテライトな図書館のコーナーを出すこともいいと思います。すでに店舗利用が決まっているとのことですが、わっしょい広場に図書館が3階にあることが分かるように掲示してもらおうとよいと思います。

○館長

今、おっしゃったとおりでございます。

旧駅通りの方には、看板が出ておりますが、わっしょい広場側、立体駐車場から来た方には、分かりにくい面があると思います。地域振興あるいは周防夢座の関係もありますので、関係部署とも相談をしながら、分かりやすいものができたら、設置すべく検討してまいりたいと思います。

○議長

他はよろしいですか。

今、御説明に対する御意見・御要望が出ましたけれども、図書館事業全般について、御意見・御要望・御提案をお聞きできればと思います。

○委員

11月7・8日に中国地区の学校図書館協議会が山口で開催されます。私も昨年度まで、牟礼南小学校で勤務しておりましたが、そちらの司書教諭が発表を行います。それによって、学校図書館活用の輪が広がっていくのではないかと考えております。

来年度、中学生のビブリオバトルをという話が出てきましたので、早速、校長会で話をさせていただこうと思います。急には難しいと思いますが、まず学校の中で準備ができるような体制が取れていけたらなということで、学校司書と相談を進めている状況です。

○委員

防府図書館だよりの配布対象は、どの程度でしょうか。

この図書館だよりの作成は、本当に大変だと思います。この行事予定には、本当に盛りだくさんの行事等が掲載されているので、市民みんなが見ると、利用者がたくさん増えると思うのですが。

○館長



現在発行しております図書館だよりは、月に1回、各小・中学校に配付しておりましたが、今年からは高等学校にも配布しております。それ以外にも、議員、公民館等、逓送便を利用した配布をしております。

ホームページにも掲載しておりますけれども、その他の所に郵送するのはなかなか難しいので、逓送便でお配りできるところを中心にしているのが現状です。今後とも、更に周知に努めていきたいと思っております。

#### ○委員

幼稚園、保育園についてですが、気になっていることが1つあります。

防府市は幼稚園がすべて私立ということで、防府市からの支援がないという話を聞きました。調べたところ、山口市は私立、公立関係なく、幼稚園全部に団体貸出が巡回しているそうです。読書に対する意識の差は、各保育園、各幼稚園、幼稚園と保育園の間でも格差として大きな違いが出ているようなので、他の自治体でもやっている団体貸出について、防府図書館が手を差し伸べてもらえたらなと思います。

#### ○館長

幼稚園・保育園につきましては、御承知のとおり、貸出文庫という形で御協力はさせていただいておりますが、今おっしゃる通り、もう少し利用の促進をというご提案をいただきましたし、幼稚園連盟会長の話によりますと、予算的に厳しいという話がありましたので、図書館の資料をどのような形で提供していけばいいのかを検討していきたいと思っております。

#### ○議長

移動図書館車の出張サービスなど、いろいろありまして、図書館の職員も大変かと思いますが、工夫されて、御検討いただければと思います。

#### ○委員

おはなし会のことですが、幼児に対してはいろいろな団体がおはなし会をさまざまな所で開いておられて、子どもたちは大変恵まれていると思います。

それに比べて、小・中学生が時間的問題・場所的な問題で、少し置き去りにされていると思っております。

先ほど中学校でも、選書会をしてほしいという話がありましたが、今年の子ども読書フェスティバルでは岡本先生をお呼びして、大変ユニークな楽しい催し物をして、小学生が最後まで楽しく過ごしていたのを覚えておりますが、できれば、小学生・中学生対象のイベントを考えていただきたいと思っております。

#### ○館長

御指摘の通りでございます。

イベントにつきましては、今年の子ども読書フェスティバルは、非常に好評

を得ましたので、それを踏まえて第10回となる来年度についても、検討しているところです。さらには、小・中学生が利用しやすい方法として、読書会を開催するお手伝いをするなどで、すそ野を広げることを考えております。

その他、先ほどに補足して移動図書館車の利用ということで、今、小学校が6校、中学校2校を巡回しておりますが、幼稚園等も可能なら入れさせていただきたいと思っております。

○委員

今回の図書館まつりが、先週終わったばかりですが、防府愛情フリーマーケットと相まって、図書館まつりも盛り上がりを見せ、今年も古本市が盛況だったと聞いています。

その中で、最近はお働く人が多くなったため、ボランティアが集まりにくく、ボランティア自身が高齢化してきています。図書館まつりでは重い物を運ぶことがあるのですが、だんだん難しくなって準備は大変でした。片づけの際には県立大学生の参加があり、若い力がすごいと改めて思ったところです。

これから本当にサークルも高齢化して、若い人が入らなくなっているの、そこをみんなで考えていきたいなと思っております。

○委員

資料に戻りたいのですが、7ページの貸出文庫の貸出が154団体となっていて、かなりの数なのですが、これはどういう団体なのか。

○館長

この貸出団体は、留守家庭児童学級や各幼稚園、保育園等です。学校にも文庫を運んでおり、学年ごとに1団体として計算しております。それで、154という数字になります。

○委員

では、幼稚園にも回っているのですか。

○館長

回っているというより、支援という形です。カードを作っていて、御利用いただくときに、団体として取り扱っているということです。

○委員

分かりました。

それで、移動図書館車の臨時出張が多くなってきて、良くなったといわれていたのですが、反響はどうでしょうか。

それを利用して、今度図書館へ行ってみようとか、借りてみようとかいう感じなのですか。

○館長

図書館から遠い地区に移動図書館車を出すというのが基本です。図書館を利

用しにくい方、特に御高齢で交通手段がない方のための移動図書館車ですので、図書館と図書館車のどちらも利用される方はいらっしゃると思いますが、特に出張サービスによって、どの程度利用が増えたかということについては、今のところ把握しておりません。

○委員

図書館をPRする感じでやっていらっしゃるのですね。分かりました。

○議長

図書館は、県民・市民の御協力がなければ発展しませんし、県民・市民と共に育つ図書館ですので、ぜひ今後とも発展のために御協力をよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、その他、事務局からありますでしょうか。

○事務局

この図書館協議会は例年、年3回開催しておりますけれども、今回が2回目ですので、次回3回目は2月頃を予定しております。

2月の協議会では、来年度の図書館事業について御説明をする予定にしておりますので、よろしくお願ひします。

○議長

本日は、令和元年度の第2回目の会議ということで、今年度事業の途中経過について、図書館から御説明を受け、御意見を伺いました。

今後も委員の皆様の御要望・御意見をいただきながら、生涯学習の中核施設、街の情報拠点として図書館事業が充実したものになりますように協議を進めていきたいと考えております。

これをもちまして、本日の議題等は、すべて終了しました。